

# はじめに

大人に「どうしてこういう決まりがあるの?」と聞いたら、「そういう決まりなんだよ」と答えられた、ということはありませんか。私は、そういう大人の答え方はまちがっていると思います。国の法律や、学校や家での決まり・ルールには、必ず理由があります。その理由を、きちんと説明できなければおかしいのです。

そして、理由そのものがまちがっているときや、理由からみて法律・決まり・ルールがおかしいときには、「おかしい」と声を上げて、より良いものに変えていくことが大切です。そのことを、学校のきまりごとなどを通して、これからみなさんと一緒に見ていきましょう。

監修者 山下敏雅

## 法律の土台は憲法

法律は、日本国憲法を土台にして作られています。

ます。

憲法では、「だれもが人として大切にされ、守られ、幸せに生きるための権利がある。」と、

定めています。これを「人権」といいます。

法律には、「社会のきまりを作る」、「みんな

の安全や権利を守る」、「争いを解決する」など、さまざまなルールがありますが、すべて

の法律は、憲法に記されている「人権を守る」

という考え方がもととなっているのです。

法律

日本国憲法

# もくじ

ルールは一人一人を大切に守るためにある 4

みんなを守る子どもの権利条約 6

学校のルールって絶対なの? 小5 アンズの告白 8

★基本的には、何を着るかは自由に選べる 10

ルールを守れないと、連帯責任!? なんか変! 小5 コタロウの告白 12

★子どもには「休む」「遊ぶ」権利がある 14

法律も変わっていく 16

コーチが怖い。がまんするしかないの? 小4 マイの告白 18

★どんな理由があっても、心や体を傷つけるのはゆるされない 20

親からの虐待。家に帰りたくない 小6 レンの告白 22

★ゆるされない児童虐待について 24

いやだけどはずかしくていえない 小3 ナナミの告白 26

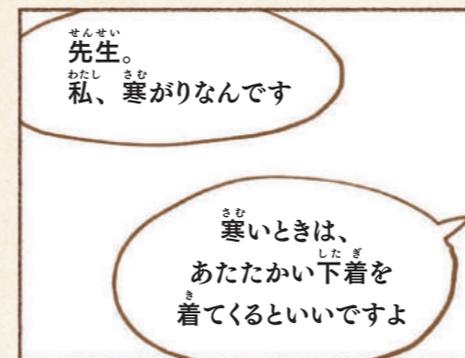
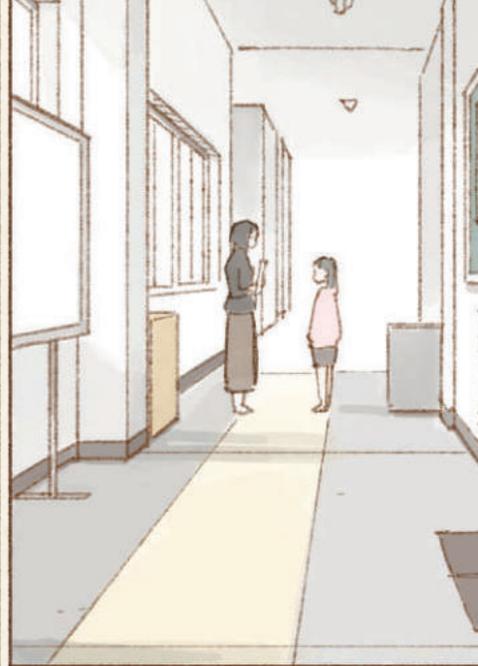
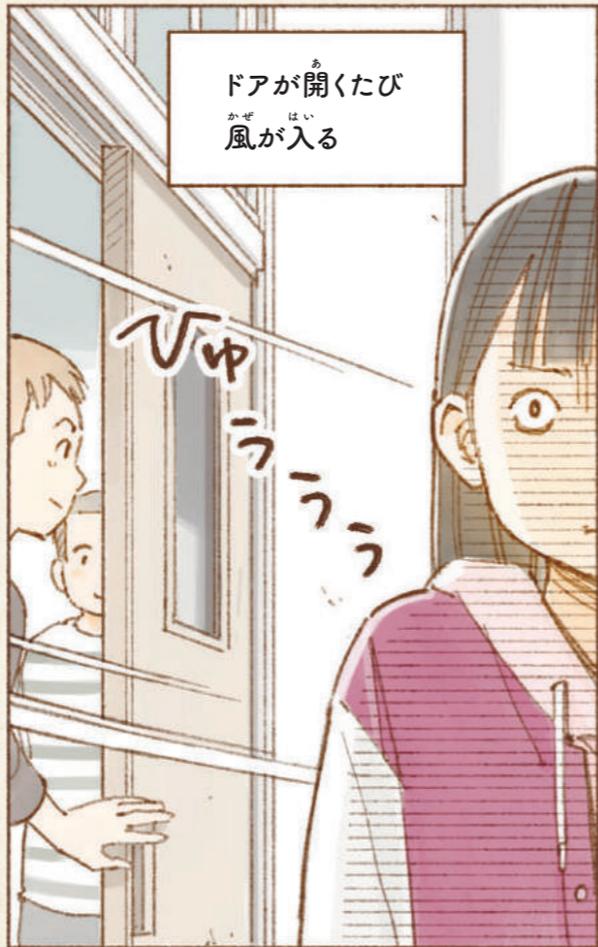
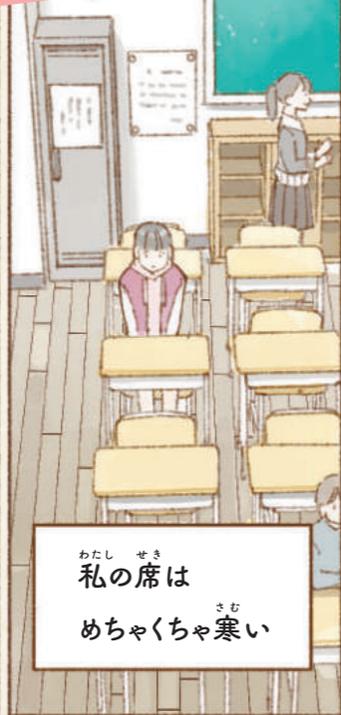
★性暴力は心にも体にも傷を残す 28

一人でかかえこまないで、相談を 31

さくいん 32

# 学校のルールって絶対なの？

小5 アンズの告白



# 基本的には、何を着るかは自由に選べる

どんな服を着るかなど、その人らしい人生を送る権利は、日本国憲法13条で保障されています。

では、仮装で使うような着ぐるみを、学校に着て行ってもいいのでしょうか。

まず、着ぐるみで授業を受ければ、まわりの人は黒板が見えにくいです。これは、他の人の学ぶ権利を侵害することになります。

また、服装はその場に合わせたものを着るといふ礼儀とマナーがあります。たとえば、お葬式では派手なドレスではなく黒い服を着るといふようなことです。学校は、子どもたちに社会の一員としてふさわしいふるまいを教える場でもあるので、「着ぐるみは授業を受けるのにふ



さわしくありませんよ」と注意します。

その上で、「授業中、上着は禁止」というルールについて考えてみましょう。

寒さの感じ方は人によっても体調によっても変わります。がまんすることで風邪をひいたり、授業に集中できないのは子どもにとって困ることです。そして、上着を着ることで他の人の学ぶ権利を侵害しませんし、礼儀とマナーにも反していません。

そうやって考えると、「授業中、上着は禁止」は、行き過ぎたルールです。



## 意見をいうのはわがままではない

「このルールって変だな」と感じたときは、「決まりだから仕方ない」と、あきらめるのではなく、自分の意見をいっていいのです。

意見をいうのは決してわがままではありません。よりよい学校生活のために、とても大切なことです。

とはいえ、先生にちゃんと聞いてもらえるか心配という人もいます。

実は、子どもの権利条約では、「子どもに関わるルールは、子どもの意見を聞く」とされています。大人は子どもの話にきちんと耳をかたむけて、「どうしてこのルールがあるのか」という理由を説明する責任があります。

ルールに疑問を感じたら、意見を出し合い対話することが大切なのです。

### 子どもの権利条約 第12条 第1項 (児童の権利に関する条約)

締約国は、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。この場合において、児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。

## まわりの人にも聞いてみよう

### こんなルール、どう思う？

- ◆ 体育着の下に下着を着てはいけない
- ◆ 下着の色は白のみ
- ◆ 登下校時、日傘をさしてはいけない
- ◆ 制服のスカートの下にタイツをはいてはいけない
- ◆ 習っていない漢字を使ってはいけない

もし、ルールについて疑問をもったときは、まわりの人の意見をきくのもいいでしょう。「そういう理由があったのか」と気づくこともあれば、「みんなで先生に相談しよう」ということになるかもしれません。意見をいったり聞いたりすることは、自分たちの暮らしをよりよくするのに大切なのです。